

令和5年度 学校評価アンケートのまとめ（教職員）

教職員アンケートについて

【結果と考察】

No.	肯定（そう思う、ややそう思う） 否定（あまり思わない、思わない）	考察
①【学校教育目標】	肯定 97% 昨年度比（+2P）	
②【学校経営方針】	肯定 95% 昨年度比▲（-3P）	肯定が90%以上であるものの、そう思うが-17P。主語を「私は」としたことが影響していると思われる。
③【学部等の重点目標】	肯定 98% 昨年度比（+4P）	
④【業務改善】	肯定 85% 昨年度比▲（+2P）	肯定が90%以下。一層の業務の精選と改善を行う。
⑤【不祥事の防止】	肯定 100% 昨年度比（±0P）	
⑥【研修】	肯定 91% 昨年度比▲（-3P）	肯定が90%以上であるものの、そう思うが-5P。民間の講座も含め、研修講座を広く紹介し、参加を促す。
⑦【センター的機能】	肯定 94% 昨年度比（+1P）	
⑧【保護者との連携】	肯定 100% 昨年度比（+3P）	
⑨【地域との連携】	肯定 89% 昨年度比▲（-9P）	肯定が90%以下、主語を「学校は」とすると、肯定の割合が増えると思われる。
⑩【個に応じた指導】	肯定 99% 昨年度比（+5P）	
⑪【系統的な指導】	肯定 96% 昨年度比（+2P）	
⑫【教材の開発】	肯定 96% 昨年度比（+3P）	
⑬【ICT機器の活用】	肯定 84% 昨年度比▲（-9P）	昨年度は95%が肯定。自分事として捉えなおすことで割合が下がったと思われる。個人のスキルアップに資する研修を企画する。
⑭【権利擁護】	肯定 100% 昨年度比（±0P）	
⑮【相談体制】	肯定 84% 昨年度比▲（-14P）	ケース会議等への参加経験がない職員や担当クラスに相談を要する児童生徒がいない職員は、保護者説明の機会がないため、結果に反映されたとと思われる。
⑯【生徒指導】	肯定 99% 昨年度比（±0P）	
⑰【情報提供】	肯定 85% 昨年度比▲（-2P）	進路だよりや職員対象の進路研修会等を保護者ニーズに応じた内容とし、職員自身の学びにつなげて行く。

⑱【進路指導】	肯定 84% 昨年度比▲（－10 P）	進路指導＝卒業時と捉えているくらいがある。日常生活指導が進路指導の基本であることを折にふれて伝えて行く。
⑲【組織的対応】	肯定 90% 昨年度比▲（－6 P）	質問内容が児童生徒の行方不明時の訓練と限定的に理解されたため、そう思うが－31 Pと大幅減につながったと考えられる。
⑳【保健指導】	肯定 92% 昨年度比▲（－5 P）	肯定が90%以上であるものの、そう思うが－15 P。主語を「私は」としたことが影響していると思われる。
㉑【給食指導】	肯定 98% 昨年度比（＋3 P）	
㉒【危機管理】	肯定 98% 昨年度比（±0 P）	
㉓【環境整備】	肯定 99% 昨年度比（＋3 P）	
<p>まとめ</p> <p>主語を「学校」から「私」に変えたことで、謙虚な回答が増え、「そう思う」と答えた割合が全体的に減り、「ややそう思う」の増加につながったと思われる。</p> <p>自由記述からは設備の老朽化による生活の不具合についての指摘や児童生徒の急増による教室不足などの意見が寄せられた。いずれも一朝一夕に解決することは難しく、P T Aとも連携を図り、P T Aからの要望としても県教委に早期改善を求めていく。</p> <p>今後、P T A活動の一環で環境整備や補修などの取り組みが可能であれば、無理のない範囲で補修等を行いたい。</p>		